

家畜衛生だより

From 中央家保 豚用



豚丹毒にご注意ください！

今夏、県内で急性敗血症型による死亡が続発しています



急性敗血症型

続発！

豚丹毒 急性敗血症型とは？

- ・突然の高熱(40℃以上)で急死
- ・全身チアノーゼ
- ・致死率が高い
- ・繁殖雌豚の流産

豚熱との鑑別が必要

(その他、亜急性経過では蕁麻疹型、慢性経過では、関節炎型、心内膜炎型が見られる。)

写真出典：https://www.naro.affrc.go.jp/org/niah/disease_fact/t51.html

古い病気と侮れない、豚丹毒の特徴！

- ・健康な豚でも約40%が扁桃などのリンパ節に保菌し、糞便、唾液及び鼻汁を介して排菌。
- ・高温、寒冷、密飼い、群替え、輸送などのストレスにより豚の抗病性が低下すると発症！
- ・豚丹毒菌はあらゆる場所の土壌等、環境中に広く分布しており、イノシシや鳥類等の野生動物も保菌しています。発生農場では、壁、餌、換気口など様々な場所から検出されたという報告もあります。

対策は？

①ワクチン接種

- ・生ワクチンの場合、皮下に1回接種。
抗生剤の影響を受けやすいため、接種前3日間、接種後2週間の抗生剤の使用を避け、健康な豚に接種しましょう。移行抗体がワクチン効果に影響するため、移行抗体の消失時期に合わせて接種しましょう。
- ・不活化ワクチンの場合、筋肉内に2回接種。
抗生剤や移行抗体の影響を受けにくい。
十分な免疫応答には3～5週間隔で2回接種が必要です。

ワクチンプログラムの再確認をお願いします！！



②飼養衛生管理基準を再徹底！

今一度チェックを！！

- 専用衣服・長靴の履き替え
- 人の手指の消毒
- 野生動物対策(柵・防鳥ネット)
- 農場内・豚舎内の通路の消毒
- 車両消毒
- 環境からの交差汚染対策



豚の様子がおかしいな?と思ったら中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090
※必ず5回以上コールしてください